

LGBTQ+と交通機関に関するアンケート結果報告 (セクマイ大会2023パネルセッション用)新設Cチーム企画

はじめに

私たちは、2022年4月よりトランスジェンダー当事者として国土交通省近畿運輸局「移動等円滑化評価会議」に関わり、交通や街づくりについて他の当事者と連携しながら政府に提案していく作業をしています。しかし、これまでLGBTQ+と公共交通機関について、日本ではほとんど調査や研究が行われてきませんでした。それゆえ、私たちが実際に公共交通におけるユニバーサルデザインや、アクセシブルなガイドラインの策定に関わる中で、どのように自分たちのニーズを把握して行ったら良いのかわかりませんでした。

そこでまず、LGBTQの人々がどのように公共交通機関を感じているのか、どのような体験をしているのかを尋ねる必要があると思い、アンケート調査を行いました。ここではその結果の抜粋を報告いたします。

アンケート期間: 2022年10月1日～12月31日

方法: インターネット上でのGoogleフォームアンケート

回答数: 60件 (2023年1月9日現在)

アンケートのURL: <https://forms.gle/Zv5J3vajXuSFMbj98> (現在も回答可)

(1) 60名の回答者のセクシュアリティの内訳です。6割強がトランスジェンダー、ノンバイナリーなどの方々でした。

「クィアのシス女性(レズビアン、バイセクシュアル、パンセクシュアル、Aセクシュアルなど)」19%

「クィアのシス男性(ゲイ、バイセクシュアル、パンセクシュアル、Aセクシュアルなど)」8%

「トランス女性」3%

「トランス男性」17%

「トランスジェンダー・ノンバイナリー・ジェンダーフリーユイド・Xジェンダーなど」39%

(2) LGBTQの人々は公共交通機関を利用する際に様々な不安を持っていることがわかりました。いくつか紹介します。

トランス女性

- 女性専用車両を利用したいが、見た目が男性なので、女性専用車両を利用しにくい。
- 以前は女性専用車両に女性友達と乗ることができず、気まずい思いをした
- 過去に電車で「女装してるのがいる……」的な事を小声で言われた事があり、今でもすごく怖い。
- やはりジロジロ見られたり、こそこそ話されたあとに視線が跳んでくると、落ち込みます
- ヘイトに遭うのではないかと不安。パスしたらしたで、痴漢に遭うのではないかと不安。

トランスジェンダー

- 定期券に性別が記載されていて不快。駅のトイレは大きい駅には多目的トイレがあるが、使用されたり、汚れていて使いたくないと我慢するしかない。多目的トイレに出入りするときも、トイレ自体がかなり人目につくところにあるので、どう見られているんだろうとか、知人に見られたらどうしようと不安になることがある。

LGB

- 同性の恋人と手を繋いでいたり恋人の距離感でいるときに、意識過剰だとは思いますが他人の視線を気にしてしまう。嫌悪感がなくとも好奇の目で見られているように感じてしまい、緊張する。
- 公共交通機関に限らず人からどう見られているか、あるいはゲイとバレていないかを気にしながら生活しているので、多くの人が利用する公共交通機関は少なからず緊張や不快感を感じます。

- シスジェンダーのレズビアンです。そもそもあまり車内で雑談はしないけれど、セクマイの友人達と会った時に、時々車内やホームなどの待ち時間で、本当は話したい、セクシュアリティの話題や「普通」とされない話題を避けてしまう。周りの人の目が気になることが理由。
- 駅に異性カップルの結婚式のポスターが貼られていて、この国では同性婚もできないのに無神経だな、とむかついている。「日本にLGBTQは何%います！」ということ言うなら、リアルの数字に合わせた広告物を作るべきだろうと思う(たとえば、セクマイの数が15%だったら、広告に登場させるセクマイの数を15%に近くなるよう調整するなど)。

(3)それぞれの交通機関での困りごとを聞きましたが、鉄道と航空機についての意見を紹介します。「鉄道を利用して、LGBTQ+として感じる、困りごと/こうしてほしいことはなんですか？」

1. トイレが男女の2つに完全に分かれており、多目的や男女兼用がないのはユニバーサルでないと感じます。また、多目的トイレの前に「あなたはバリアフリートイレでないとダメですか？ 必要な方は一般トイレをご利用ください。」と記載があるポスターが入っていました。見た目が多目的トイレを使う必要がないと判断される人(体の性と性自認が異なる方、体の内部に障害がある人、オストメイトなど)にとって入りづらいのではと疑問に思いました。ただ、広いスペースであるが故に長時間利用をする人もいるので、多目的トイレの扱いは難しいところだと感じます。
2. 定期を作るときに性別欄がある。必要か？
3. 性別欄は一刻も早くなくしてほしい。鉄道会社に意見したが「本人確認のために必要」と言われて取り合ってもらえなかった。
4. Suicaのカードに見た目の性別を登録してしまったので、カードとリンクできない気がして、していない。駅のカードのチャージ機器は個人情報が大きく表示されて後ろから性別が見えそうで、駅員さんへの説明もその度面倒になるので見た目に合わせたが悩ましい。
5. 複数利用の割引が「恋人」「友達」「夫婦」「家族」と関係性を限定しているのが気になる。マーケティングとして有効なのだと思うが、私はアロマンティックなので特に「恋人」「夫婦」というパッケージに疎外感を感じる。関係性を問わないただのペア割やグループ割だいいと思う。

(4)「航空機を利用して、LGBTQ+として感じる、困りごと/こうしてほしいことはなんですか？」

1. チケットに名前が印字されるのが気になります。
2. 航空券購入時に性別を記載する必要がある、万が一身分証の確認を求められたときの事を考えるとどちらの性別が望ましいのか毎回悩んでいます。
3. 性別を答える欄があり、マイナンバーカードの提示を求められないか不安。国際線の場合、パスポートの性別と見た目の性別が「一致」していないことで怪しまれないか不安。そもそも法的な性別を見られるのが非常に不快。
4. 男性として見られるため、セキュリティチェックで男性の係員による身体検査があるのは苦痛だが、説明するのもエネルギーを消耗する
5. 男女の夫婦だと混んでも、隣りどおしの席にするのに私達は同性婚が認められてないからしてくれない。海外便は特に困る。

(5)多くの人が公共交通機関でのトイレの仕様に困っていることがわかりました。「公共交通機関のトイレ(車両内ではなく、駅などにあるもの)を不便に感じたり、嫌な目にあつた/あいそうだったことがありますか。」あるが58%、ないが23%でした。

(6)さらにトイレで困る具体的な経験を聞きました。

45件の回答がありました。一番多かった困りごとは「誰でもトイレが少なく、使用中であることが多いので困る」53%、二番目が「健常者に見えるため、車いす用トイレを使う時に人の目が気になる」46%でした。

「見た目が中性的なのでどちらのトイレに入ってもジロジロ見られ居心地が悪い」37%
 「誰でもトイレが少なく、使用中であることが多いので困る」53%
 「誰でもトイレが施錠されていて使えないことが多く困る」33%
 「健全者に見えるため、車いす用トイレを使う時に人の目が気になる」46%
 「付近にカメラがある場合、逮捕拘留が怖いので性自認のトイレではなく誰でもトイレを使う」8%
 「生まれも自認も女性なのに男性と間違えられる」4%
 「背が高いため女性トイレで驚かれる」6%
 「小便器同士の間に仕切りがないのでプライバシーが守られてないと感じる」11%
 「立ちションができないので男子トイレの個室を使うが、数が少ない」17%
 「性別がバレるので声を出せない」8%
 「男性トイレで個室使う際、排尿の音が異なるため気になる」11%
 「男性トイレにサニタリーボックスがない」17%

(7)そこで「公共交通機関のトイレをどのように改善してほしいですか。」を聞いたところ圧倒的に多かったのは、誰でもトイレを増やしてほしいという意見でした。

1. 誰でもトイレを増やしてほしい(18件)
2. 多目的トイレは男女別ではなくしてほしい。(3件)
3. 多目的トイレの近くに「あなたは本当に必要?」「多目的トイレが必要な人がいます」とかかれたポスターが貼ってある。内部障害などは見た目ではわからないし、男女トイレを使えない人もいるのに、すごく責められているような感じがするし、使うたびに周りで見られている気がする。逆に多目的トイレはジェンダーに関わらず使える空間であることを啓蒙すべきだと思う
4. 全個室化してほしい。建物の構造上2つの個室トイレしかなくて難しい場合は、男性トイレ、女性トイレという分け方ではなく、ひとつを男女共用トイレ、もうひとつを女性専用トイレにするなど配慮してほしい。男女共用トイレであれば、見た目が女性、男性、中性的な人であっても、どんな見た目でも入りやすいと思う。
5. だれでもトイレに名称を変えて欲しい。マークなどで男女しか想定されていないのは窮屈です。
6. 特に都会の駅のトイレだが、もっともっと広い面積を確保して作ってほしい。(3件)
7. トイレや多目的トイレでの性犯罪防止策を徹底して欲しい。改札や駅員の駐在所から近い、多くの人の目にすぐに留まる場所に設置してほしい。通路を省いて、すぐに個室に辿り着けるような作りにしてほしい。その方が防犯性が高まると思う。(4件)
8. 男性トイレにもゴミ箱を設置して欲しい。陰茎形成術を終えていても立ち小便ができないこともある。個室は多い方がいい。陰茎形成術をすると排尿に障害が残ることもあり尿漏れパッドなどを使うこともある。サニタリーボックスはほしい。(3件)
9. 綺麗に保ってほしい、環境整備をして欲しい(3件)

(8)「公共交通機関に求めるLGBTQ+への取り組みとしてあなたが希望するものはどれですか。3つ選んで下さい」という質問をしました。一番多かったのは、「定期券、チケット、申込書類などで、不必要な性別欄をなくす。」74%、二番目に多かったのは、「誰でもトイレを増やす。」67%、でした。

「定期券、チケット、申込書類などで、不必要な性別欄をなくす。」74%
 「誰でもトイレを増やす。」67%
 「男性トイレの個室を増やす。」21%
 「宣伝や掲示物に異性愛カップル／家族だけでなく、LGBTQ+も登場させる。」32%
 「異性愛カップル向けサービス／商品を同性カップルも使えるようにする。」36%
 「性別で限定したり、分けたサービス／商品を見直す。」40%

「レインボーフラッグなどを置いてLGBTQ+フレンドリーであることを示す。」16%

「LGBTQ+の存在を可視化させるような啓発ポスターを貼る。」20%

「地元のプライドパレードを応援したり、スポンサーになる。」7%

以上となります。

公共交通機関や街づくりの分野でのLGBTQの困りごとについては、はじまったばかりでまだまだ調査や議論を重ねていく必要があると思います。おそらく今回のこの小さなアンケートは日本で行われたLGBTQと交通機関に関する数少ない調査のひとつだと思います。これをきっかけに、データとエビデンスを積み重ね、行政や事業者働きかけを続けていきたいです。

新設Cチーム企画では、近畿運輸局での当事者ヒアリング会のつながりで、2025年に行われる大阪万博にも関わっています。万博の開催に賛成の立場ではありませんが、やると決まったからには、後世によりよいものを残すためのチャンスとして、当事者の意見を反映してもらえるよう働きかけていくつもりです。しかし、メンバーが足りません。公共交通機関とLGBTQの問題について関心があり、協力してくれる方を募集中です。どうぞよろしくお願いいたします。

セクマイ大会プレ企画3で私たち3人のトランス当事者が公共交通機関について対談したイベントがYoutubeで公開されておりますので、よかったらご覧ください。

<https://youtu.be/SXuraKXKX3E>

また、皆さんの公共交通機関でのLGBTQとしての体験談があれば、是非教えて頂ければ助かります。ご清聴ありがとうございました。